

「水害リスクを自分事化し、流域治水に取り組む主体を増やす流域治水の自分事化検討会」 のとりまとめを踏まえた流域治水の取組の一層の推進について

水管理・国土保全局

水害リスクを自分事化し、流域治水に取り組む主体を増やす

流域治水の自分事化検討会 国土交通省 Ministry of Land, Infrastructure and Transport

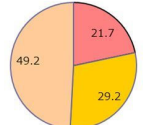
- ✓ 住民や民間企業等のあらゆる関係者が、流域治水の取組を持続的・効果的に進めるための普及施策について検討するため、様々な専門分野の有識者による検討会を令和5年4月に設置し議論
- ✓ 同年8月には流域治水の推進に向けた普及施策の体系化と行動計画を策定

現状・課題

【検討会アドレス】https://www.mlit.go.jp/river/shinngikai_blog/suigairisk2/index.html

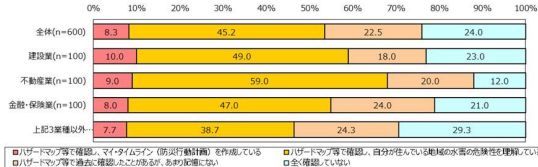
- ✓ 水災害対策に関するアンケート調査によれば、「流域治水」について内容を含めよく知っているとは答えた方は、2割程度。また、7割以上がハザードマップ等により水害リスクを確認しているものの、マイ・タイムラインの作成は、1割弱。
⇒水災害リスクを確認している人は多いが、実際の行動に結びついていない現状。

Q. 「流域治水」について知っていましたか (N=600)



■「流域治水」について、その内容を含めよく知っている
■「流域治水」という言葉を、見たか聞いたことがある
□「流域治水」について、全く知らない

Q. あなたは、お住まいの地域の「水害リスク」を確認したことがありますか



方向性

- ✓ 水災害の意識の高まりを実際の行動につなげていく「自分事化」を推進。認知と行動のギャップを埋めていく。



⇒自分事化の機会創出に向けた、自発的な取組を促す施策（行政からの働きかけ）を検討

水害リスクを自分事化し、流域治水に取り組む主体を増やす 流域治水の自分事化検討会

- ＜委員＞
- 伊東 香織 岡山県 倉敷市長
今若 靖男 全国地方新聞社連合会 会長
(山陰中央新報社 取締役東京支社長)
加藤 孝明 東京大学生産技術研究所 教授
小池 俊雄 国立研究開発法人
土木研究所水災害・リスクマネジメント国際センター長
河野 まゆ子 株式会社 JTB 総合研究所 執行役員 地域交流共創部長
指出 一正 株式会社 sotokoto online 代表取締役
佐藤 健司 東京海上日動火災保険株式会社 公務開発部 次長
佐藤 翔輔 東北大学災害科学国際研究所 准教授
下道 衛 野村不動産投資顧問株式会社 執行役員 運用企画部長
知花 武佳 政策研究大学院大学 教授
中村 公人 京都大学大学院農学研究科地域環境科学専攻 教授
松本 真由美 東京大学教養学部附属教養教育高度化機構 客員准教授
矢守 克也 京都大学防災研究所 教授
吉田 丈人 東京大学大学院農学生命科学研究科 教授



(オンライン参加)



第1回検討会の様子（会場参加）

第1回：令和5年4月28日（金）10時-12時

・流域治水の自分事化に向けた論点整理、取組事例の紹介、今後の進め方について

第2回：令和5年5月25日（木）13時-15時

・委員からの取組事例紹介、とりまとめ骨子（施策の体系化、行動計画、新規施策）

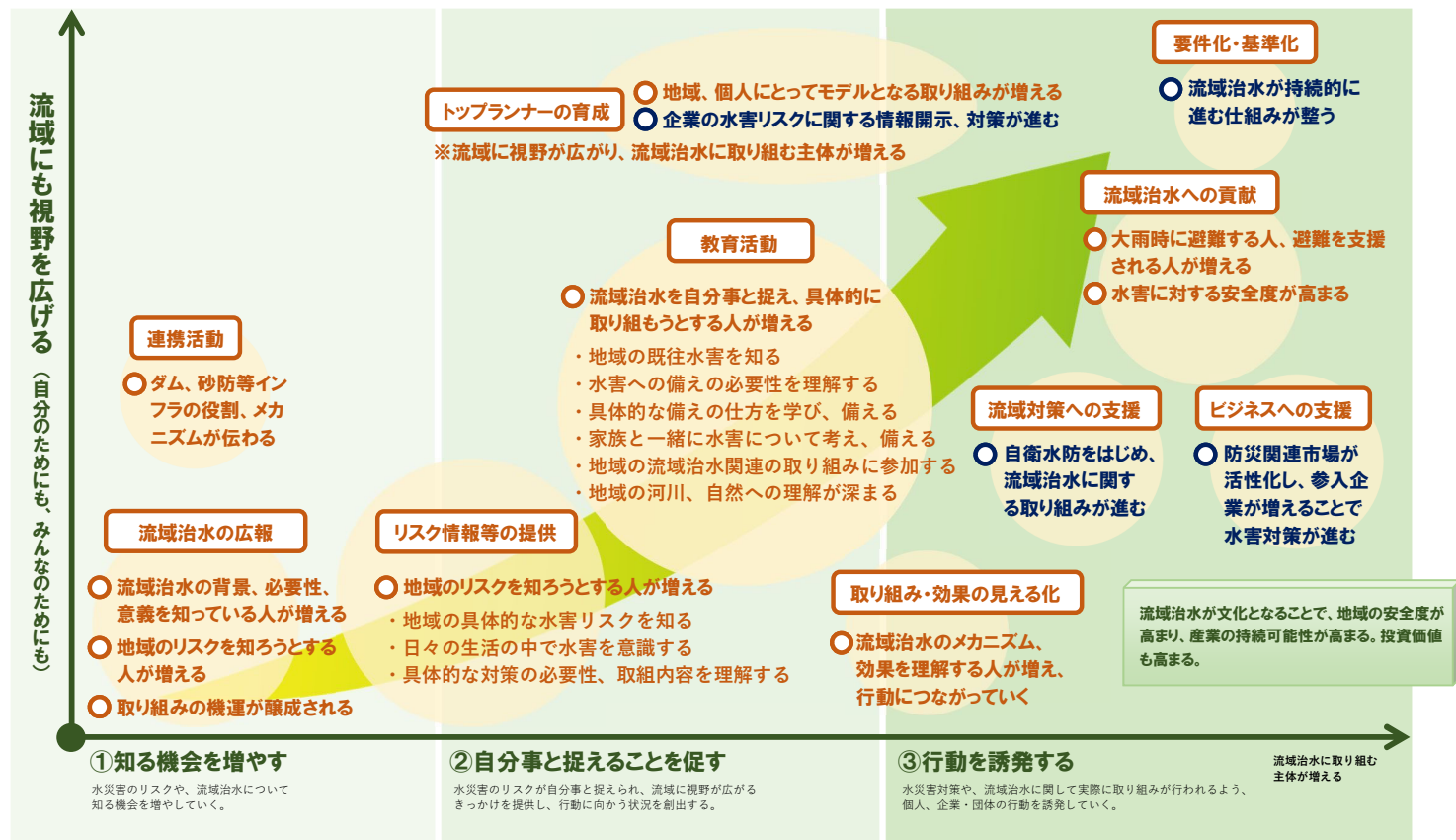
第3回：令和5年6月19日（月）15時-17時

・とりまとめ案（施策の体系化、行動計画、新規施策）

5. 施策体系(目的、狙い)

○ 主に地域、個人に関するもの

○ 特に企業に特化したもの



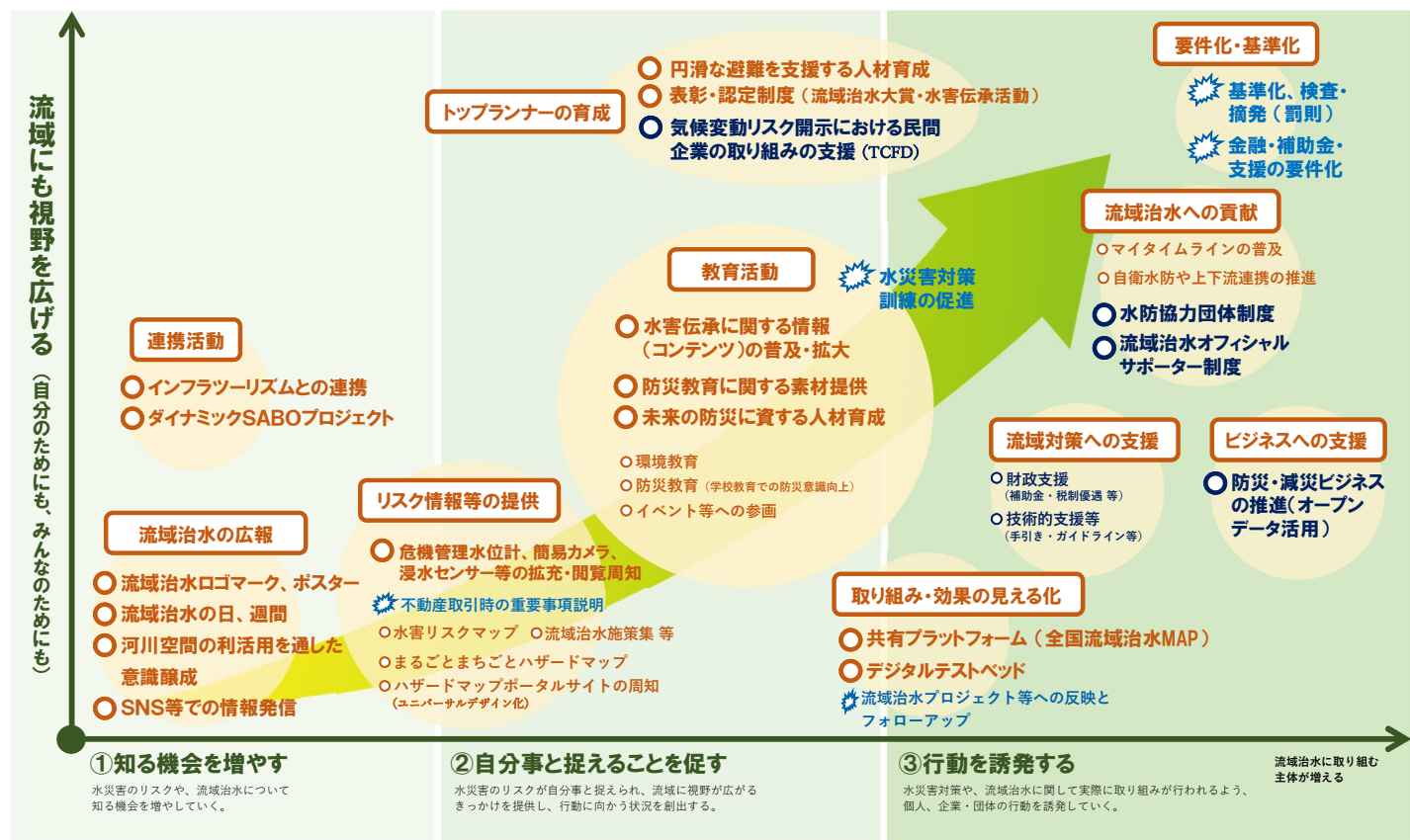
5. 施策体系

細字：既存施策
太字：新規施策

○ 自発的な取り組みを促す施策

○ 主に企業を対象とした施策

一定の強制力を伴う施策



菊池川流域治水協議会

計画：「水災害の自分事化」と流域に視野を広げることに関する令和6年度の取組計画を①②③の別に記入（横断可）

流域にも視野を広げる（自分のためにも、みんなのためにも）

流域にも視野を広げる（自分のためにも、みんなのためにも）				
連携活動	教育活動	訓練活動	水防活動の支援	
○流域市町の小学校の社会科見学やイベントでの機会を利用してダムの役割や効果、必要性を説明	○流域治水の普及に向けて河川協力団体との勉強会やイベントを実施 ○VR浸水シミュレーションを活用した防災学習（玉名市） ○防災士養成講座の実施（流域内各自治体） ○分かりやすい教材等を用いた防災教育 ○自主防災組織等からの依頼による防災講話の実施（山鹿市）	○自主防災組織が実施する防災訓練や資機材整備における財政支援（山鹿市）	水災害対策の支援 ○雨水タンク・浸透ます設置における財政支援（合志市、菊陽町等）	
流域治水の広報	リスク情報等の提供	計画策定		
○防災イベントにおいて、流域治水に関するパネル等の設置 ○流域治水の取り組み内容をパンフレット、ポスターで周知（熊本県内） ○河川事務所、熊本県 ○河川空間の利活用を通じた意識醸成（4箇所、河川協力団体や地域住民で「水辺で乾杯」を実施）	○避難所の混雑状況や避難ルート情報を防災情報ポータルで公開（熊本市） ○LINE、アプリ等を活用した防災情報の発信（南関町、合志市等） ○適切な避難行動を促すためのマイ避難カードを作成、公表（合志市） ○河川や地下道の監視カメラ映像の公開（熊本市）	○町総合防災マップの配布（和水町） ○町管理河川区域において、ハザードマップを周知（大津町） ○防災重点ため池ハザードマップの作成、公表（玉名市、山鹿市、和水町） ○3D防災マップを活用した、情報発信の強化（玉名市）	○要配慮者利用施設における避難確保計画の作成支援（熊本県） ○防災指針（立地適正化計画）の作成・公表（玉名市、熊本市） ○マイタイムライン作成・周知（山鹿市、和水町）	
①知る機会を増やす 水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。	②自分事と捉えることを促す 水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。			③行動を誘発する 流域治水に取り組む主体が増える 水災害対策や、流域治水に關して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

取り組み・主対象	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
①知る機会を増やす	○水災害、流域治水の広報 地域 個人 企業・団体 ○連携活動 地域 個人	「水辺で乾杯」実施 流域治水取り組みパンフレット・ポスターの周知 防災イベントにおいて、流域治水に関するパネル等の設置 流域市町の小学校の社会科学見学やイベントでの機会を利用しダムの役割等を説明		
	○リスク情報等の提供 地域 個人 企業・団体 ○教育活動 地域 個人	ため池ハザードマップの作成、町総合防災マップの更新・配布、監視カメラ映像の公開等 避難場所や経路等に関する情報の周知、LINE・アプリ等を活用した防災情報の発信 高校生や高齢者等に向けた防災教育、出前授業 自主防災組織等からの依頼による防災講話 VR浸水シミュレーションを活用した防災学習 流域治水の普及に向けて河川協力団体との勉強会やイベントを実施		
	○訓練活動 地域 個人 ○計画策定 地域 個人 企業・団体	自主防災組織が実施する防災訓練や資機材整備における財政支援 要配慮者利用施設における避難確保計画の作成支援 防災指針（立地適正化計画）の作成・公表 マイタイムライン作成・周知		
③行動を誘発する	○水災害対策の支援 地域 個人 ○水防活動の支援 地域 個人 企業・団体	雨水タンク・浸透ます設置における財政支援		